

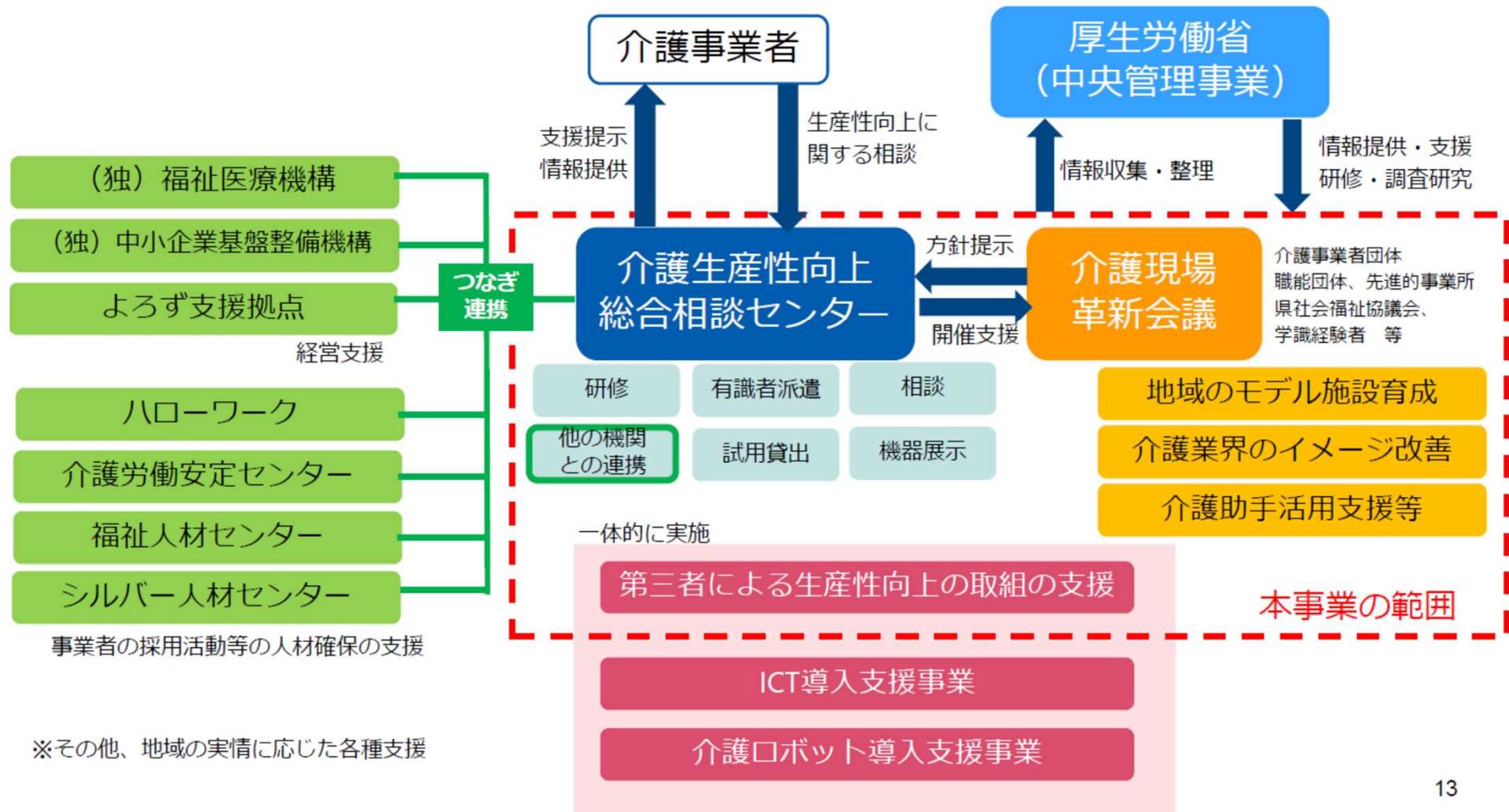


資料4

# 介護生産性向上 総合相談センターの設置



# 介護生産性向上推進総合事業（具体的な事業イメージ）



# センターの運営方針について

## 「介護生産性向上総合相談センター」の機能

介護生産性向上総合相談センターでは、以下の事業を行う。

- 1 介護事業所からの生産性向上の取組等に関する相談対応
- 2 生産性向上に取り組む介護事業所に対する有識者の派遣
- 3 介護ロボット等の機器展示
- 4 介護ロボット等の試用貸出
- 5 介護現場における生産性向上の取組に関する研修会
- 6 その他

# 1 介護事業所からの生産性向上の取組等に関する相談対応

## 目的

- 介護サービス事業所が抱える生産性向上（介護ロボット・ICTを含む）の取組に関する全般的な課題等を解決すること。

## 実施事項

- 事業所からの生産性向上の取組等に関する相談を受け付け、事業所の抱える課題の解決に向けた助言や適切な支援先の紹介を行う。
- 人材確保などの様々な相談、魅力発信等、テクノロジーの活用等による業務改善以外に関する相談についても、県内における関係する事業や事業実施機関等を紹介する等の対応を行い、相談者の課題が解決するよう支援を行う。

## 留意事項

- 介護事業所に対して、相談窓口の設置・役割等について十分な周知を行う。
- 常時相談可能な体制（オンライン相談の実施、ホームページへの相談受付フォームの設置、SNSの活用など）の構築を検討する。

## 成果指標

- 相談対応件数

## 2 生産性向上に取り組む介護事業所に対する有識者の派遣

### 目的

- 生産性向上の取組内容やノウハウを横展開するために、地域においてモデルとなる介護事業所の取組を創出すること。

### 実施事項

- 介護事業所における業務改善の取組を有識者が個別に支援する。
- 研修会等を開催し、伴走支援を行った介護事業所の事例など、モデルとなる取組を県内の事業所に横展開する。

### 留意事項

- センターに相談があったもので有識者派遣が必要な場合は、随時、派遣対応を行う。
- モデルとなる介護事業所の取組を創出するため、長期的な伴走支援を行う介護事業所を募集し、選定する。  
なお、選定の際は、多くの介護事業所の参考となるよう、可能な限り、地域や介護サービスの種類が偏らないようにする。
- 伴走支援を通じて行われた試行錯誤や失敗談等についても、生産性向上の取組に係るノウハウの取得につながるため、必要に応じて横展開の際に活用する。

### 成果指標

- 有識者派遣の実施件数

## 3 介護ロボット等の機器展示

### 目的

- 介護職員や介護職を目指す学生、一般の方等を対象に、介護ロボット・ICTを周知すること。

### 実施事項

- 介護ロボット・ICTを体験する展示スペースの確保・整備を行う。
- 体験展示の希望者に対して、体験の際の注意事項等を説明し、案内をする。必要に応じて活用場面や機器の特性等の説明を行う。
- 必要に応じて、展示スペース以外で実施する出張型の展示も検討する。

### 留意事項

- 最新の機器を展示するため、少なくとも半年に1回は展示機器の見直しを検討する。
- 相談窓口と展示場が同一の場所にならない場合は、オンラインで双方をつなぐなど、利用者の利便性向上に取り組む。
- 展示場等において、3月に1回程度、県内の介護事業所を対象とした介護ロボット・ICTの導入促進に資するイベントを開催する。なお、イベント毎に異なるテーマを取り扱うこととする。
- 特定の開発企業や介護ロボット・ICTを斡旋する形にならないよう配慮する。

### 成果指標

- 展示場への来場者数（オンライン利用を含む。）

## 4 介護ロボット等の試用貸出

### 目的

- 介護サービス事業所等に実際の介護ロボット・ICTに触れ、体験してもらうことにより、介護ロボット・ICTの普及を促進すること。

### 実施事項

- 介護ロボット・ICTの開発企業と調整の上、介護ロボットの貸出しを行う。
- 試用貸出の対応実績、効果・課題等の把握、開発企業と介護サービス事業所等をつなぐ等の支援を行い、将来的に介護現場の課題がより効果的に解決されるためのサービス提供につなげる。

### 留意事項

- 試用貸出の説明の際は、貸出を希望する介護ロボットが事業所に適したものかを確認し、介護ロボット等の効果的な活用につながるよう助言を行う。
- 必要に応じて、厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の「介護ロボット試用貸出リスト」の無償貸出を仲介する等の対応を行う。
- 介護ロボット・ICTの貸出しを行った介護事業所に対してアンケートを実施し、結果を介護事業所及び開発企業にフィードバックする。

### 成果指標

- 試用貸出の件数

## 5 介護現場における生産性向上の取組に関する研修会

### 目的

- 生産性向上の取組の必要性や取組の方法、先進的な事例等を広く普及・啓発すること。

### 実施事項

- 「生産性向上ガイドライン」や「介護ロボット・ICT導入の手引き」等を活用して研修会を実施する。

### 留意事項

- 研修内容は、参加者が生産性向上の意義を理解するとともに、自分の事業所の課題を認識して業務改善につなげることができるものとするよう努める。
- 座学のみではなく、ワークショップ等による双方向型の内容を取り入れる。
- オンライン参加ができるよう、利用者の利便性向上に配慮する。
- 地域の先進的な事業所による取組内容や、伴走支援を行った介護事業所の取組内容を共有する場としても活用する。

### 成果指標

- 研修会の参加者数

## 6 その他

### 生産性向上の関連情報の収集・提供について

- 国の動向や他都道府県で行われている取組等の情報を収集し、介護事業所等に提供する。

### センターの広報について

- チラシ、ホームページの開設等により、介護事業所等にセンターの業務内容等の周知を行う。

### 関係機関とのネットワーク構築

- センターの事業実施にあたり、独立行政法人福祉医療機構、独立行政法人中小企業基盤整備機構、よろず支援拠点、労働局、ハローワーク、介護労働安定センター、福祉人材センター及びシルバー人材センター等と連携して必要な取組（経営支援、人材確保の支援等）を行うほか、その他の機関とも必要に応じて連携する。